



新作

南部鉄器展
鉄をつむぐ

会期 / 2020年
11月1日(日)から
11月23日(月・祝)

New Works
NANBU TEKKI

開館時間 / 9時 - 18時 (観覧無料)
会場 / もりおか歴史文化館 2階企画展示室
*入場受付は17時30分まで *会期中の休館日は11月17日(火)

〒0200023
岩手県盛岡市内丸1番50号
TEL 01966812100
https://www.moriteki.jp/

もりおか歴史文化館
Morioka History and Culture Museum 活性化グループ

新作南部鉄器展



◎岩鑄 八重樫亮

◎釜定 大村敏宏

◎虎山工房 網取光男

◎田山鐵瓶工房 田山和康

◎岩鑄 吉田真也

◎薫山工房 佐々木健二

◎虎山工房 山田真

◎タヤマスタジオ 熊谷俊

◎岩鑄 阿部亘

◎薫山工房 菊池飛鳥

◎鈴木盛久工房 十五代鈴木盛久 (熊谷志衣子)

◎タヤマスタジオ 吉田修

◎釜定 宮昌太郎

◎薫山工房 畠山拓巳

◎鈴木盛久工房 鈴木成朗

◎鉦屋 菊池翔

◎釜定 小熊愉吉

◎薫山工房 阿部貴

◎鈴木盛久工房 澤野諒和

◎鉄瓶工房高橋 高橋大益

* 工房名(五十音順), 作者名(敬称略)

鉄をつむぐ

New Works
NANBU TEKKI

「つむぐ／紡ぐ」

繭や綿などの繊維を
錘にかけて糸を作ること。
比喩的な表現で言葉をつなげ、
主に物語や詩歌などの
文章を作ること。

ここ盛岡が、盛岡藩の城下町として栄えた江戸時代。この時代に多くの工芸品が生まれ、そのひとつである南部鉄器も藩内で鉄器づくりに必要な鉄や砂、木炭などを得られる好環境と、藩主の奨励のもと発展を遂げていきました。そして幾多の盛衰を繰り返しながら、現在も伝統の技術を守る職人たちが、その時代・暮らしにあった姿形を模索し、新たな風を取り入れた鉄器を作りつづけ、現在まで受け継がれています。師匠から弟子へと受け継がれてきた技術はまるで一本の糸のようであり、職人たちの価値観やこだわりの作品は、まるで鉄でつむがれたひとつの物語のよう感じられます。

本展では2020年度の新作を中心にご覧いただけます。職人たちが南部鉄器に込めた思いの一端を感じていただければ幸いです。

ご来館の皆様へご協力をお願い

- * 発熱や咳、体調不良の方はご来館をお控えください。
- * マスクの着用をお願いいたします。
- * ご来館の際は受付スタッフの指示にしたがってください。



〒020-0023
岩手県盛岡市内丸1番50号
Tel.019-681-2100
<https://www.morireki.jp/>



もりおか歴史文化館
Morioka History and Culture Museum 活性化グループ